

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 45 (1982~1983)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第45回例会 昭和58年7月5日(火) 雨

- ◇ “君が代” “奉仕の理想”
- ◇ 乾杯 副会長 加藤大豊君
- ◇ 出席報告
会員 46名 出席 39名
出席率 84.78%
- ◇ 前回 6月28日(修正出席率) 95.74%
make up
青山君(7/1港), 安藤君(7/1港), 橋本君(6/29名北), 加藤(保)君(6/29和合), 菊池君(6/27中), 鈴木(猛)君(6/22和合), 谷口君(7/4中), 都築君(6/30瑞穂), 鶴飼君(6/30瑞穂)
- ◇ ビジター紹介 3名
- ◇ ニコボックス
水野(民)君(23年間皆勤の喜びあにたり), 竹内君(会長に就任いたしました), 三輪君(出席100%を記念して, 又この1年間幹事としてよろしく願います), 松居君(出席100%を記念して), 谷口君(S.A.A.としてこの1年間お世話になりました), 都築君(夫人誕生祝, 又ホームクラブ御無沙汰しました), 浜口君(中部経済新聞に記事が掲載されました)
- ◇ 三輪幹事報告
 1. 次回例会終了後, 臨時総会を行いますので全会員の方に御出席頂きますようお願いいたします。
 2. ロータリーの友7月号が届いておりますのでお持ち帰り下さい。
- ◇ 新旧会長・幹事ラベルボタン引き継ぎ
- ◇ 水野(民)直前会長挨拶
竹内会長のもとに始まる第45回の例会に一寸ごあいさつを申し上げます。
44回の例会で88回目の点鐘をうち肩の荷はおりた気もしますが, 本年度のR.I会長の会員増強のプログラムについて特に力を入れて頂きたいと思っております。1933年の古い話ですが, 米山梅吉氏は「自分がかつて2, 3

のクラブに若い人の入会を推挙したことがある。その時, いずれも未だ名をなしていない人であると言うことで, 入会を許されなかった。

ロータリアンとして最も必要な人材は次の時代をせおって立つような人を得ることが一番大切である」と言っておられます。

その気になって会員一人一人が自分の職業に直接関係のない未充填の分類, 今なら商業, 工業, 報道の関係の人々を紹介して頂きたい。そうすれば今年中には50名といわず60, 70と言う会員数も可能であり, 経済的にも, 又力強いRCとなり得るであろうと考えております。

竹内会長, 三輪幹事のもとで, よいRC, 力強いRCとなって頂くことを祈ってごあいさつと致します。

- ◇ 直前会長・幹事に記念品贈呈
- ◇ 竹内新会長挨拶

昨年の8月に創立し, 水野前会長並びに東クラブの余語特別代表ほか皆々様の肝入で無事今日を迎えることとなりました。千種クラブそのものも勿論, 私はじめメンバーの諸君も1年前の今日, こうしてロータリークラブのメンバーとして和気藹々の中で会し, 又語ろうとは夢々思われなかったらと思うのであります。

ロータリーの綱領, 4ウェイテスト, 各種奉仕委員会, 260地区, 地区協議会, クラブアセンブリーほか, クラブ特有の名称, 内容等々, 理解と実際とが今もってなかなか身につけて参りません。そうした雰囲気の中で, 水野前会長の御推挙並びに同友諸兄の御援助を得て, このたび会長をお引受けすることになりました。正に晴天のヘキレキで到底その任に非ざることは承知致しておりますが, 及ばずながら微力をつくす所存でありますのでよ

ろしく願ひ上げます。

未だクラブの歴史は1年に満ちませんが、私は当クラブのメンバーそれぞれに誇りをもち、時間の経過と共に諸兄の持ち味がだんだんと理解されて楽しくなってきました。初めは渋々入会したものが、今ではよき友を得て計らざる楽しみを味わっております。

私の会長としての第一の目的は、先ずクラブ内の「和」であろうと考えます。「和」があって始めて「クラブカラー」も醸成されると思います。

初めて北欧から選ばれたブライトホルツ会長(1971~72)は「善意goodwill」を主張されました。即ち「善意のないRCは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、社会奉仕というも施しにすぎず、国際奉仕は外交以外の何ものでもない」との意味であるとのことでもあります。

又1970~71年のウォルキー会長は「Bridge the Gaps」と主張されました。つまり、隔りを除こうという意味です。流石に会長ともなられる方はターゲットの設定が秀抜であると感心いたします。

Gapsを除く……いろいろな含む処のある言葉です。言葉のGaps, 気持ちのGaps, こうしたGapsをとり除く処から「和」が生まれます。

又とり除きたいという意欲と努力があって「理解」と「和」が生ずると考えます。勿論ロータリークラブですからR.Iの一人として行動の規範があり、積極的に協力しなければならぬことは当然ですが、そうしたクラブとしての行動力の源泉はクラブ各員の善意と和の他にないことをこの1年で学びました。

私は活動の目的を「和」に置き、そのための各種の運営に当たりたいと考えております。その上でスケルトン会長の「Share Rotary, Serve People」が生きて参ると考えております。細目に涉っては水野前会長のお智慧をかりることとして、260地区の一員として、うしろ指を指されぬよう頑張りたいと存じます。会員諸君の御理解を切に希うものであります。

◇1982~83年度100%出席者記念品贈呈

●23年

水野民也君

●ホームクラブ100%(1年)

石田耕嗣君

●1年

浜口龍男君, 林淳三君, 石田耕嗣君, 加藤大豊君, 菊池昭元君, 黒須一夫君, 松居敬二

君, 三輪康君, 水野賀續君, 成田良治君, 佐野寛君, 杉山貞男君, 鈴木猛君, 竹内真三君, 谷口暢宏君, 寺澤竹三郎君

◇ポール・ハリス・フェロー記念メダル授与 安藤銀之助君

この一年をふりかえってみて

1982~83年度ガバナー 大隈孝一

この『ガバナース・レター』がお手許に届く頃は、もう地区協議会も終了して、ほっとしておられることと存じます。私も同様であります。

(1)何といっても、88カ所めぐりの公式訪問は、私にとっては、大仕事でありました。ふりかえってみますと、「公開体力テスト」でありました。お陰様で、無事終了出来ましたことに改めて厚く感謝申し上げます。

(2)皆様方に、いろいろ検討をお約束したこともございますが、まだまだ未解決や具体化していないことも多々あります。力足らずで申し訳なく存じます。今後、出来るだけの努力をしていきたいと思っております。

(3)今まで12回にわたってこの月信でいろいろ申し上げてきましたが、先輩各位や皆様方に、失礼の段、あるいは思い違いの段、多々あったと思っておりますが、役目柄ということでお許し下さい。

しかし、これからも建て前よりも本音を大切にしたいと思っております。

(4)分区分割は、その緒につきました。今後とも分区分割の実情に応じて、合理化へ進むものと存じます。

(5)地区分割も、その必要性は、殆ど全員の御理解を得たと考えております。しかし、その具体化は極めてむづかしく、人間社会のことは理屈だけのものではないと考え込んでおります。

(6)また、地区の運営については、皆様の御理解と御協力によって、ある程度前進があったと思っております。

一歩ずつ改善の道を、皆様とともに進むことが出来ることは、本当にうれしいことでもあります。

(7)R.I本部から、ガバナーには、数多くの航空便が参ります。今、ふりかえってみて、あまり緊急を要することは少く、且つ、資金的な要請に類することが相当あったように感じます。R.I本部も行革の再検討が必要ではないかと思っております。あまり事情を知らぬ一ガバナーの偏見でしょうか。

◇次回例会(7月12日)

卓話「長幼の序」

会員 尾関 武弘 君

◇次々回例会(7月19日)

卓話「私学雑感」

会員 大谷和雄君